

目次

アルファベット	1
Lektion 1 発音 / 挨拶 / 四季 / 月 / 曜日 / 数詞	2
Lektion 2 動詞の現在人称変化 / 不規則動詞 sein	6
Lektion 3 名詞と名詞の性 / 定冠詞と不定冠詞 / 不規則動詞 haben	12
Lektion 4 語幹の母音が変化する不規則動詞 / 人称代名詞 / 命令形	18
Lektion 5 名詞の複数形 / 定冠詞類 / 不定冠詞類	24
〈文法変化表 I〉	30
Lektion 6 前置詞の格支配 / 分離動詞 / 並列接続詞	32
Lektion 7 話法の助動詞 / 再帰表現 / zu 不定詞	38
Lektion 8 現在完了形 / 過去形 / 従属接続詞	44
Lektion 9 形容詞の格語尾 / 比較表現 / 受動文	50
Lektion 10 関係代名詞 / 接続法 I 式 / 接続法 II 式	56
〈文法変化表 II〉	62
〈文法補遺〉	64
Lesestücke	75
1 「出会いと自己紹介」	(Lektion 2)
2 「私の市内観光」	(Lektion 3)
3 「Mai und Rudolf I」	(Lektion 4)
4 「私の家族の写真」	(Lektion 5)
5 「私の小旅行 コンサートに行く」	(Lektion 6)
6 「週末の過ごし方」	(Lektion 7)
7 「週末、何をしましたか？」	(Lektion 8)
8 「Franz Kafka」	(Lektion 9)
9 「Mai und Rudolf II」	(Lektion 10)
〈主な不規則動詞変化表〉	86

Lektion 2

動詞の現在人称変化 / 不規則動詞 sein

☆☆ 2-1 動詞の現在人称変化

動詞の原形を**不定詞**といいます。辞書の見出し語にはこの形が載っています。

不定詞は「**語幹**」と「**語尾**」に分けられます。



不定詞の語尾は主語の人称に応じて変化します。この変化した形を**定動詞**といいます。

trinken の現在人称変化

	単数			複数		
1 人称	ich	私は	trinke	wir	私たちは	trinken
2 人称 (親称)	du	君は	trinkst	ihr	君たちは	trinkt
3 人称	er	彼は	trinkt	彼らは		trinken
	sie	彼女は		sie	彼女たちは	
	es	それは		それらは		
2 人称 (敬称)	Sie	あなたは	trinken	Sie	あなたたちは	trinken

- ☆ ドイツ語の 2 人称には家族や友人など親しい間柄で用いられる親称の du 「君は」 / ihr 「君たちは」と、それほど親しくない間柄で用いられる敬称の Sie 「あなたは、あなたたちは」(単複同形) があります。敬称の Sie は頭文字を常に大文字にします。
- ☆ ドイツ語には進行形がありません。現在形が現在進行形の意味を持つことがあります。文脈に応じて訳を工夫しましょう。

arbeiten 「働く」のように語幹が **-d** や **-t** で終わる動詞は語尾の前に **e** を入れます。

	arbeiten			
ich	arbeite	wir	arbeiten	
du	arbeitest	ihr	arbeitet	
er, sie, es	arbeitet	sie / Sie	arbeiten	

☆☆ 2-2 平叙文 / 「はい」、「いいえ」で答えることのできる疑問文

◆ 語順① 平叙文

ドイツ語の語順は英語に比べて自由です。平叙文では**定動詞が2番目**に置かれます。

定動詞以外の語順は日本語とだいたい同じです。

Ich	wohne*	jetzt in** Deutschland***.	私は今、ドイツに住んでいます。
Jetzt	wohne	ich in Deutschland.	今、私はドイツに住んでいます。
In Deutschland	wohne	ich jetzt.	ドイツに私は今、住んでいます。

* wohnen 「住んでいる」 ** in 「～の中に」 *** Deutschland 「ドイツ」

◆ 語順② 「はい」、「いいえ」で答えることのできる疑問文

「はい」、「いいえ」で答えることのできる疑問文では**定動詞は文頭**に置かれ、**ja** 「はい」と **nein** 「いいえ」で答えます。

Kommt* er aus** Japan? — **Ja**, er kommt aus Japan.
彼は日本出身ですか? はい、彼は日本出身です。

(～から来ていますか?)

* kommen 「来る」 ** aus 「～の中から」

nein で答える場合には正しい答えを後に続けるか、**nicht** を用いて否定文にします。

— **Nein**, er kommt aus Deutschland.

いいえ、彼はドイツ出身です。

— **Nein**, er kommt **nicht** aus Japan.

いいえ、彼は日本出身ではありません。

* 否定文の作り方 → 64 頁

reisen 「旅行する」、heißen 「～という名前である」のように動詞の語幹が **-s, -ss, -ß, -z, -tz** で終わる動詞は主語が **du** のとき、語尾 **-st** の **s** が脱落します。

reisen				heißen			
ich	reise	wir	reisen	ich	heiße	wir	heißen
du	reist	ihr	reist	du	heißt	ihr	heißt
er, sie, es	reist	sie / Sie	reisen	er, sie, es	heißt	sie / Sie	heißen

Übungen

I 語順①：下線部の語句を文頭においてドイツ語にしましょう。

例：美しく彼女は歌います。 → Schön singt sie.

- 1 テニス (Tennis) をあなたたちは上手 (gut) にします。

- 2 今 (jetzt)、君は英語 (Englisch) を勉強しています。

- 3 一生懸命に (fleißig) 君たちは働きます。

- 4 お茶 (Tee) を Hans は好んで (gern) 飲みます (飲むのが好きです)。

II 語順②：不定詞を変化させて文を完成させましょう。



- 1 Sie jetzt in Berlin? — Nein, ich jetzt in Leipzig. [wohnen]
あなたは今、ベルリンに住んでいますか？ いいえ、私は今、ライプツィヒに住んでいます。
- 2 Eva aus Köln? — Nein, sie aus Bremen. [kommen]
Eva はケルン出身ですか？ いいえ、彼女はブレーメン出身です。
- 3 du oft* nach** Deutschland? [reisen] * oft 「よく、しばしば」 ** nach 「～へ」
君はよくドイツへ旅行しますか？ — Nein, ich oft nach Österreich.
いいえ、私はよくオーストリアへ旅行します。
- 4 du Inge? — Ja, ich Inge. [heißen]
君の名前は Inge ですか？ はい、私の名前は Inge です。

III IIを参考にしてドイツ語にしましょう。

- 1 Klaus は今、ベルリンに住んでいますか？ — いいえ、彼は今、ケルンに住んでいます。

- 2 あなたはドイツ出身ですか？ — いいえ、私はオーストリア出身です。

- 3 君はよく日本へ旅行しますか？ — はい、私はよく日本へ旅行します。

- 4 君の名前は Peter ですか？ — いいえ、私の名前は Andreas です。

☆☆ 2-3 疑問詞を用いた疑問文 / 不規則動詞 sein

◆ 語順③ 疑問詞を用いた疑問文

疑問詞を用いた疑問文では、**文頭に疑問詞、2番目に定動詞**が置かれます。

Was studierst* du in Wien? — Ich studiere in Wien Musik. * studieren 「大学で学ぶ」
君はウィーンの大学で何を専攻していますか? 私はウィーンの大学で音楽を専攻しています。

疑問詞には次のものがあります。

was	何	wer	誰が	wo	どこで	woher	どこから
wohin	どこへ	wann	いつ	wie	どのように	warum	なぜ

◆ 不規則動詞 sein は英語の **be** 動詞に相当し、不規則な変化をします。

sein の現在人称変化			
ich	bin	wir	sind
du	bist	ihr	seid
er, sie, es	ist	sie / Sie	sind

身分、職業、国籍を表す名詞

身分、職業、国籍などを表す名詞は一般的に男の人を表します。

女性の場合は語末に **-in** をつけます。

Arzt	男性医師	Ärztin	女性医師	Japaner	日本人男性	Japanerin	日本人女性
Sänger	男性歌手	Sängerin	女性歌手	Lehrer	男性教師	Lehrerin	女性教師
Musiker	男性音楽家	Musikerin	女性音楽家	Professor	男性教授	Professorin	女性教授
Schüler	男子生徒	Schülerin	女子生徒	Student	男子大学生	Studentin	女子大学生

例外：Deutscher ドイツ人男性 Deutsche ドイツ人女性

Übungen

I 語順③：ドイツ語にしましょう。さらに [] の語を使って答えましょう。

- 1 Thomasは何を飲むのが好きですか？ [Apfelsaft*] * Apfelsaft 「りんごジュース」

- 2 あなたは Berlin の大学で何を専攻していますか？ [Jura*] * Jura 「法学」

- 3 君たちはどこ出身ですか（どこから来ていますか）？ [aus Japan]

- 4 Hans は今、どこに住んでいますか？ [in Kioto]

- 5 君はどこへよく旅行しますか？ [nach Heidelberg]

- 6 君は何という * 名前ですか？ [Jansen] * 疑問詞は wie を用いてください。

II sein を変化させて文を完成させましょう。完成した文を和訳しましょう。



- 1 du Deutscher? — Nein, ich Japaner.
- 2 sie (彼女) Deutsche? — Nein, sie Japanerin.
- 3 Was ihr von Beruf*? * von Beruf 「職業について」
— Ich Lehrerin und* er Professor. * und 「そして」
- 4 Wo Sie jetzt? — Wir jetzt in Bremen.

III IIを参考に sein を用いてドイツ語にしましょう。

- 1 Sabine は歌手です。そして Alex はまだ (noch) 学生です。

- 2 Elias、君は音楽家ですか？ — はい、私は歌手です。

- 3 Meyer さん*、あなたの職業は何ですか？ — 私は医師です。
* Herr Meyer と Frau Meyer の2通りで書いてみましょう。

- 4 君たちは今、どこにいますか？ — 私たちは今、ライプツィヒ (Leipzig) にいます。

Lektion 3

名詞と名詞の性 / 定冠詞と不定冠詞 / 不規則動詞 haben

☆ 3-1 名詞と名詞の性 / 定冠詞のついた名詞の格変化 / 1 格と 4 格の用法

◆ 名詞と名詞の性

ドイツ語では固有名詞だけでなく、普通名詞も頭文字を常に大文字にします。

ドイツ語の名詞には文法上の性（男性、女性、中性、複数）があり、辞書などでは男、女、中、複、または、**m. f. n. pl.**などと表されます。

名詞の性は冠詞の形の違いによって表されます。基本となるのは定冠詞「その～（英語：the）」です。名詞は定冠詞をつけて意味と性をいっしょに覚えるようにしましょう。

◆ 定冠詞のついた名詞の格変化

「格」とは文中で名詞が果たす役割のことで、日本語の格助詞（が、の、に、を）に近い働きをします。ドイツ語には 4 つの格があり、冠詞は名詞の性と格によって変化します。

定冠詞のついた名詞の格変化

	男性	女性	中性	複数
	その男の人	その女の人	その少女	それらの人々
1 格（～が）	der Mann	die Frau	das Mädchen	die Leute
2 格（～の）	des Mann(e)s	der Frau	des Mädchens	der Leute
3 格（～に）	dem Mann	der Frau	dem Mädchen	den Leuten
4 格（～を）	den Mann	die Frau	das Mädchen	die Leute

☆ 男性 2 格と中性 2 格では名詞の語末に **-s (-es)** をつけます。複数 3 格では **-n** をつけます。

◆ 1 格と 4 格の用法

1 格は主に主語の働きをし、4 格は動詞の目的語（「～を」になることが多い）になります。

Der Mann kauft hier die Postkarte.

男性 1 格

女性 4 格

その男の人はここでそのはがきを買います。

Das Mädchen kennt den Mann.

中性 1 格

女性 4 格

その少女はその男の人を知っています。

4 格の目的語と用いる動詞には次のようなものがあります。

besuchen 訪ねる kaufen 買う kennen 知っている lieben 愛する など

Übungen

I 格変化の表を完成させましょう。

	その父親	その母親	その子ども
1 格	der Vater 男	die Mutter 女	das Kind 中
2 格	_____	_____	_____
3 格	_____	_____	_____
4 格	_____	_____	_____
	そのボールペン	そのカード	その本
1 格	der Kugelschreiber 男	die Karte 女	das Buch 中
2 格	_____	_____	_____
3 格	_____	_____	_____
4 格	_____	_____	_____

II 1 格か 4 格の定冠詞を入れましょう。

- Mutter kauft Kugelschreiber und Buch.
その母親はそのボールペンとその本を買います。
- Kind kennt Schüler gut.
その子どもはその男子生徒をよく知っています。
- Lehrer besucht Mutter. その男性教師はその母親を訪ねます。
- Frau liebt Mann sehr*. その女の人はその男の人をととても愛しています。
* sehr 「とても」

III IIを参考にしてドイツ語にしましょう。

- その少女はそのカードとそのボールペンを買います。

- 君はその日本人男性をよく知っていますか？

- その女性教師はその父親を訪ねます。

- その男の人はその女の人をととても愛しています。

☆ 3-2 不定冠詞のついた名詞の格変化 / 定冠詞と不定冠詞 (1 格と 4 格)

◆ 不定冠詞のついた名詞の格変化

不定冠詞 **ein** は英語の不定冠詞 *a(an)* に相当し、「1 つの」、「1 人の」、「ある～」の意味になります。

不定冠詞のついた名詞の格変化

	男性	女性	中性
	1 台の机 (テーブル)	1 つのバッグ	1 冊のノート
1 格 (～が)	ein Tisch	eine Tasche	ein Heft
2 格 (～の)	eines Tisch(e)s	einer Tasche	eines Heft(e)s
3 格 (～に)	einem Tisch	einer Tasche	einem Heft
4 格 (～を)	einen Tisch	eine Tasche	ein Heft

☆ 男性 2 格と中性 2 格では名詞の語末に **-s (-es)** をつけます。

◆ 定冠詞と不定冠詞 (1 格と 4 格)

文中で定冠詞と不定冠詞がともに用いられることがありますが、格の使い方は同じです。

Der Mann kauft hier **eine** Postkarte.

男性 1 格

女性 4 格

その男の人はここで 1 枚のはがきを買います。

Die Frau kennt **einen** Mann.

女性 1 格

男性 4 格

その女の人が ある男の人を知っています。

3 課から 5 課までに用いられる主な名詞

男性名詞： Mann 男の人、夫 Vater 父親 Onkel おじ Freund 男友達 Sohn 息子 Tisch 机
 Anzug スーツ Brief 手紙 Computer コンピューター Durst のどの渇き Hund 犬
 Hunger 空腹 Kugelschreiber ボールペン Ring 指輪 Rock スカート Zug 列車

女性名詞： Frau 女の人、妻 Mutter 母親 Tante おば Tochter 娘 Blume 花 Brille メガネ
 CD CD Jacke ジャケット Kamera カメラ Karte カード Katze 猫
 Postkarte はがき Rose ばら Stadt 町、街 Tasche バッグ Uhr 時計 Zeit 時間

中性名詞： Mädchen 少女 Auto 自動車 Buch 本 Fieber 熱 Foto 写真 Haus 家
 Heft ノート Hemd シャツ Kind 子供 Kleid ドレス

複数名詞： Eltern 両親 Leute 人々

Übungen

I 格変化の表を完成させましょう。

	1人の男の人	1人の女の人	1人の少女
1格	ein Mann ㊦	eine Frau ㊧	ein Mädchen ㊨
2格	_____	_____	_____
3格	_____	_____	_____
4格	_____	_____	_____
	1台のコンピューター	1枚のCD	1着のドレス
1格	ein Computer ㊦	eine CD ㊧	ein Kleid ㊨
2格	_____	_____	_____
3格	_____	_____	_____
4格	_____	_____	_____

II 1格か4格の定冠詞、不定冠詞を入れましょう。 21

1 Studentin kauft Computer und Kleid.

その女子大学生は1台のコンピューターと1着のドレスを買います。

2 Mädchen kennt Musikerin gut.

ある少女がその女性音楽家をよく知っています。

3 Schüler besucht oft Musiker.

その男子生徒はよくある男性音楽家を訪ねます。

4 Deutsche liebt Japaner sehr.

そのドイツ人女性はある日本人男性をととても愛しています。

III IIを参考にしてドイツ語にしましょう。

1 ある日本人女性がCDを1枚とボールペンを1本買います。

2 その女子生徒はある少女をよく知っています。

3 その女の人はよくある日本人男性を訪ねますか？

4 その男子大学生はある女子大学生をととても (sehr) 愛しています。

☆☆ 3-3 3格の用法 / 2格の用法 / 不規則動詞 haben

◆ 3格の用法

3格は**動詞**の目的語になります。日本語に訳すと「～に」となることが多いです。

Er dankt dem Lehrer / einer Frau. 彼はその男性教師 / ある女の人にお礼を言います。

男性 3 格

女性 3 格

3格の目的語と用いる動詞には次のようなものがあります。

antworten 答える danken お礼を言う gehören 3 格 のものである など

◆ 2つの目的語を用いる場合は、ふつう「3 格 に 4 格 を」の語順になります。

Der Vater kauft dem Sohn einen Anzug.

男性 3 格

男性 4 格

その父親はその息子に 1 着のスーツを買います。

◆ 2格の用法

2格は後ろから前の名詞を修飾します。

das Haus der Freundin その女友達の家

女性 2 格

die Mutter eines Freundes ある男友達の母親

男性 2 格

◆ 不規則動詞 **haben** は英語の *have* に相当し、不規則に変化します。

haben の現在人称変化			
ich	habe	wir	haben
du	hast	ihr	habt
er, sie, es	hat	sie / Sie	haben

Übungen

I 3 格の用法：下線部に定冠詞か不定冠詞を入れましょう。🎧 22

- 1 Student dankt Professor aus Japan herzlich*.
その男子大学生は日本出身のある男性教授に心からお礼を言います。 * herzlich 「心から」
- 2 Studentin antwortet sofort Professorin.
1 人の女子大学生がすぐにその女性教授に答えます。
- 3 Auto gehört Arzt. その自動車はある男性医師のものです。
- 4 Mutter kauft Sohn CD.
その母親はその息子に CD を 1 枚買ってあげます。

II 3 格の用法：与えられた語句を適切に変化させてドイツ語にしましょう。

- 1 die Studentin, eine Professorin, danken, herzlich, aus Berlin
その女子大学生はベルリン出身のある女性教授に心からお礼を言います。
- 2 der Professor, sofort, ein Student, antworten ある男子大学生がすぐにその男性教授に答えます。
- 3 gehören, eine Ärztin, der Computer そのコンピューターはある女性医師のものです。
- 4 die Tochter, kaufen, ein Kleid ☐, der Vater, eine Tasche, und, ?
その父親はその娘にバッグを 1 つと 1 着のドレスを買いますか？

III 2 格の名詞を入れましょう。

- 1 その子供 (Kind ☐) の 1 冊のノート
ein Heft _____
- 2 ある女子生徒 (Schülerin ☐) の父親
der Vater _____
- 3 その女性医師 (Ärztin ☐) のメガネ
die Brille _____
- 4 ある日本人男性 (Japaner ☐) の手紙
der Brief _____

IV haben を変化させて文を完成させましょう。完成した文を和訳しましょう。🎧 23

- 1 du noch* Zeit**? — Ja, ich noch Zeit.
* noch 「まだ」 ** Zeit 「時間」
- 2 Andrea heute* Fieber**.
* heute 「今日」 ** Fieber 「熱」
- 3 ihr Hunger*? — Nein, wir Durst**.
* Hunger 「空腹」 ** Durst 「のどの渇き」